THE KOBECCO

JULY '93 No.387

月刊神戸っ子 7

神戸っ子　昭和40年1月20日　第三種郵便物認可
1993年7月1日印刷　通巻387号
1993年7月1日発行　毎月1回1日発行

●小磯良平肖像画シリーズ
「小寺謙吉像」

開催中!!

SUMMER Sale

6/29(火)～

感激動!

あの有名ブランドが、感動のサマーセール。
神戸ベニヤで始まる感動のプライス。
これで、ココロも、カラダも、満足、満足。
いいモノ見つけて、グッドな夏体験を。

■当店平常価格の

50－30%OFF

涼やかに夏体験。

BENIYA

KOBE OSAKA TOKYO

KOBE
- 本店／三宮センター街☎(078)332-2135～6
- エルベ店／センタープラザ1F ☎(078)332-2829
- ベージェ店／三宮センター街☎(078)332-0850
- ウイング店／三宮センター街☎(078)332-0788

＊うれしい特典がいっぱいのベニヤメンバーズカ
新会員をただいま募集中！

ゆらめく波に身をまかせる
ヴィーナスのようにうっとりと、
ジュエル・エクスタシー。
TASAKI
ペンダント／K18・Pt・ベリル・アクアマリン・ピンクトルマリン・グリーンガーネット・ダイヤ／デザイン　新川隆子
この広告のお問い合わせは広報部（神戸TEL.078-232-2431）まで。多彩な機能とサービスいろいろ、タサキスワンカード会員募集。お問い合わせは営業企画室（東京TEL.03-5561-8843）まで。
田崎真珠

森が水を誘う　濡れる月夜に

JEWELRY タジマ

神戸元町2丁目 TEL.078(331)5761

Familiar's Antique Music Box Collection

オートマタ"ビクトリア"スイス

アンティーク・オルゴール展

8/7(土)～15(日)　11:00～18:00

オルゴールの美しい音色は、私たちがわれすかけていたロマンを呼び起こしてくれます。100年の時を超えて伝わってくるこの高貴な芸術性をどうぞ感じとってください。

荒木幸史の世界

コスモスファンタジー

（日本美術家連盟会員）

8/17(火)～22(日)　11:00～18:00

TEA ROOM & LITTLE SHOP

ファミリア 北野坂ハウス

神戸市中央区北野町２丁目８－１　TEL.(078)222-3535

田中　麗子

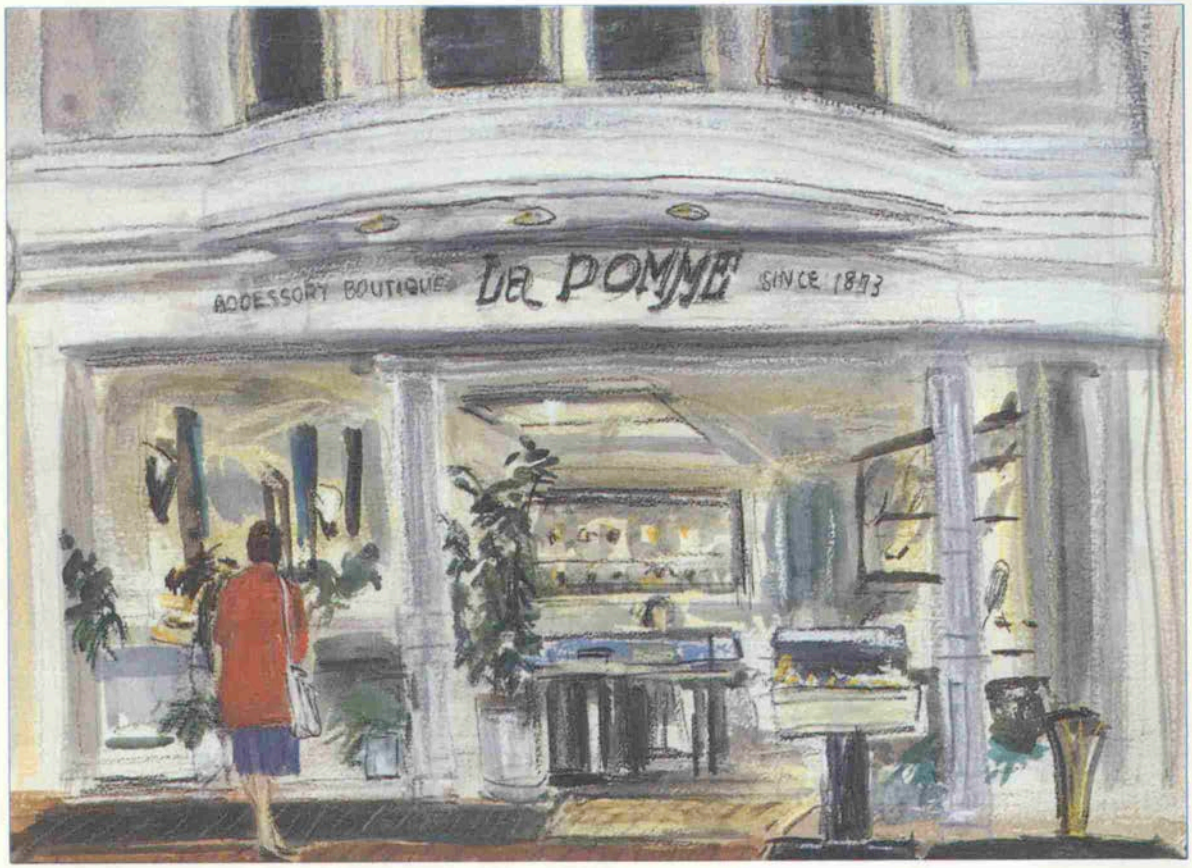
ISM（イズム）を着る

大阪音楽大学声楽科４回生。
松本幸三氏、永井和子氏、寺松光子氏に師事。学業の傍ら、広告企画・音楽企画のTHINK FACTORY ADA(アダ)に所属、また自宅ではピアノの指導にあたるなど、在学中ながら幅広い音楽活動を行っている。この春、扇月堂ホールで学友８人によるスプリングコンサートを開催した。芦屋市在住

アーズインターナショナル
アンサンブル/42,000円
撮影協力/パラディ北野

ディア プリンセス
三宮センター街店／078-332-1847
〒650　神戸市中央区三宮町1-6-18
アステシオ元町店／078-322-0761
〒650　神戸市中央区元町通1-8-1
JR大阪駅店／06-346-7621
〒530 大阪市北区梅田3-1-1ギャレ大阪
新神戸店／078-222-3637
〒650　神戸市中央区加納町2-1-15
神戸北野店／078-222-2818
〒650　神戸市中央区山本通2-9-17
芦屋店／0797-34-2060
〒659 芦屋市大原町28番1号パルティ芦屋
仁川店／0798-51-1972
〒662 西宮市仁川町2-4-13ベルドール仁川1F
神戸垂水店／078-706-1558
〒655 神戸市垂水区神田町2-9松林ビル1F
姫路駅南店／0792-22-3351
〒670 姫路市駅前町100ホテルサンガーデン姫路1F
福岡天神店／092-731-5610
〒810　福岡市中央区天神2-7-18

MAISON D'ARTISAN
ISM GROUP
神戸市中央区布引町１－１－10
☎(078)222－3641



ラ・ポムの店　(1993年)　絵／西村　功

アーバンリゾート都市

21世紀への 大胆な選択の その文明と その文化

神戸は今、アーバンリゾート

まちの主役は、150万市民一人ひとり。都市機能の快適さと、人間らしい、いきいきとした暮らしを満喫できるまちづくり——市民と行政が一体となって取り組むテーマです。

井上 優 著

■定価／1300円(税込)
■体裁／B5変 188頁

市内主要書店にて

好評発売中

ブックローン出版株式会社 〒650 神戸市中央区多聞通2-4-4
営業部 電話(078)351-5350 FAX(078)371-5073

アーバンリゾートフェア神戸'93

KOBE'93

60歳からのデビュー

邦楽ステージ 9月21日（火）
神戸文化ホール(中ホール)

★民謡を除く邦楽全般。
★神戸市内及び近隣市町にお住まいのアマチュアで60歳以上の方、15組。

洋楽ステージ 9月22日（水）
神戸文化ホール(中ホール)

出場者募集中

★器楽演奏、歌唱などの「洋楽」でジャンルは問いません。(カラオケと合唱を除く。)
★アマチュアで60歳以上の方、30組。
★募集期間／7月1日～30日
応募者多数の場合は、8月下旬に市内で予選会を行います。

美術作品展 9月4日（土）～8日（水）
相楽園会館（神戸市中央区中山手通5－3－1）

出展者募集

★絵画の部・額装を含み横幅65cm以内
★書の部・縦型／50cm×190cm以内。横型／80cm×40cm以内
★写真の部・テーマ自由、四つ切り以上で横幅65cm以内／額装またはパネル装に限る
★彫刻の部・横幅65cm以内
★陶芸の部・横幅65cm以内
★募集期間／8月31日～9月1日(会場に直接搬入)

出場者又は出展者全員に記念となる賞を贈呈

申込・問い合わせ
財団法人神戸勤労福祉振興財団 60歳からのデビューの係
神戸市中央区雲井通5－1－1中央総合庁舎8階
☎078－251－0757 担当・水井手、高輪

主催／神戸市・60歳からのデビュー実行委員会

kansin street gallery〈52〉

── 世界の街角シリーズ ──

第7回　中村百合子

生田新道に面したストリートギャラリー

"ときめきバンクかんしん"は「共感・対話・信頼」を企業理念として、地域の文化・芸術の育成に努めております。
この"かんしんストリートギャラリー"も芸術の香りをほのかに漂わせたアートスポットとして、本年は、世界の街角シリーズと題し、世界の街角の風景を描いた作品を紹介してゆきます。

コンポーゼブルーの街〈チュニジア〉

なかむら　ゆりこ
〈洋画家〉
尼崎市在住

「芸術に携さわる者として、内面の希求と共に世界の歴史や生活文化、ひいては今世紀末の人間の営みの悲喜こもごもを、少しでも可能な限りにおいてキャンヴァスに叩きこもうとする努力が、各国の人々との芸術交流の元となるならば、どんなに嬉しいことか。私は私なりに更に自己の内面にぶつかり、社会に世界に出会い、触れ合い、そして描きしるしたいのです。」

kansin
関西信用金庫
神戸市中央区下山手通2丁目12-3 〒650
PHONE(078)332-5151㈹Fax(078)333-9874

優雅に
そして華麗に

Royal Jewellery Collection

皇后陛下そして雅子様２代のご成婚の際、身につけられたティアラやネックレスをデザインした、ロイヤルジュエリーデザイナー田居克己。宝飾品の頂点とも言うべきロイヤルジュエリーを数多く手掛けた彼の作品は、極めて芸術性の高い気品ある美しさを備えています。

森真珠株式会社

本　　社／〒651神戸市中央区二宮町１丁目４－15
☎(078)241-2125㈹
2Fショールーム／☎(078)222-5881㈹（駐車場有り・年中無休）
オ　ー　パ店／〒650神戸市中央区北野町１丁目ＪＲ新神戸駅口３F
☎(078)262-2858㈹　262-2859（年中無休）
オーガスタプラザ店／〒650神戸市中央区東川崎町１丁目８－１ オーガスタプラザ3F
☎(078)360-6050
東京支店・大阪支店

田居克己　プロフィール
昭和17年東京美術学校（現東京芸術大学芸術大学）工芸科彫金部卒業後、御木本真珠入社。天皇陛下ご成婚の際、美智子妃殿下のティアラ、ネックレスのデザインを作成。後、皇室関係のジュエリーデザインを担当。
昭和55年定年退職、森真珠株式会社に入社。
現在、取締役として勤務。

Katsumi Tai

野上　万紀子
〈パールプリンセス
東京都出身〉

末広　啓子
〈パールプリンセス
神奈川県出身〉

太田　圭紀
〈代表パールプリンセス
兵庫県出身〉

塚本　未佳
〈パールアイドル
福井県出身〉

●神戸っ子'93

真珠の似合うヴィーナスの誕生

6月1日は「真珠の日」。今年も真珠振興会主催のパールフェスタが東京赤坂のホテルニューオータニで開かれ'93年パールプリンセス3人とパールアイドル1人が選出された。代表パールプリンセスに選ばれた太田圭紀さんは神戸の塩谷で生まれ、現在は同志社大学に在学中。真珠のような目を輝かせながら、「まだ代表になった実感がわきませんが、みなさんが真珠の似合うような女性になって欲しい。外国の方にも優しいような真珠の美しさを、また日本女性の清楚な感じをアピールできればと、思います。」

パールプリンセスに選ばれた末広啓子さんは「母がパールを父から始めてプレゼントされ結婚したのが、今の私と同じ年齢で不思議な感じ」フェリス女学院に在学中で「どんな方にも年齢とともに肌になじんでくるパール。若い人にはパールがその人を引き立ててくれる魅力を皆さんにわかって頂けたらと思います」

同じくパールプリンセスの野上万紀子さんは「母と私が一番好きな宝石は真珠。真珠ばかり持っていた母の鏡台を開けた子供のころの思い出は、真珠は大人の温かさ。そのイメージを伝えたい」

お婆様からパールのピアスをプレゼントされて以来、真珠が大好きという、パールアイドルの塚本未佳さんは「関西外大の英米語を専攻しているので、世界の人に真珠を外国語でもPRできるようにするのが私の役目。またどの洋服にも真珠をコーディネイトするのが得意です」とそれぞれの真珠に対する深い思い入れを持って、来年6月まで真珠の魅力を多くの人に伝えていく使命をになっていく。

（ホテルニューオータニにて）

カメラ・神尾幸一

KOBE LADIES' SAUNA

この夏、母娘（おやこ）でハーブ浴。

冷房で手足がだるい…そんな時に、
7月のハーブバスはミント&レモングラス
皮脂の分泌を整え、お肌をひきしめます。
冷房による手足の冷え、肩こりにも、効果的。

シミ、ソバカスが気になる…そんな人に、
8月のハーブバスはウスベニアオイ
日焼けによるトラブル肌をいたわります。
炎症を鎮め、シミ、ソバカスの予防に。

きれいになる6つのバス

サウナコース / 1,900円

深夜割引 / 1,200円
（夜12時～夜2時受付）
学生割引 / 1,600円
サウナ
月替わりハーブバス
ハーブサウナ
冷水超音波バス
温水バイブラバス
マッサージシャワー

もっともっときれいに！

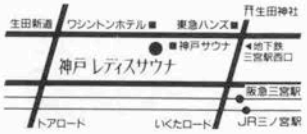
エステティック

マッサージ / 3,500円
オイルマッサージ / 6,000円
エステティック・ツイン / 9,500円
（全身のオイルマッサージと美顔をセット）
フェイシャルケア / 4,500円～5,500円
ボディケア / 3,500円～6,000円

学割できれいになる
夏休み学生割引
サウナコース **50%OFF**
期間 7 / 1(木)～8 / 27(金)
※土・日、8月12日～16日の
お盆期間を除く。
※高校生以上、お1人さま1回限り有効。
受付で学生証をご提示ください。

サウナとエステティック
神戸 レディスサウナ

神戸市中央区下山手通 2-2-10 ワシントンホテル向かい
営業時間 / 朝10時～夜3時　年中無休



Tel.078-321-4742

○神戸っ子'93

"自分探し"の旅

大越　俊夫（師友塾塾長）／カメラ　米田定蔵

「大学の講師をしていた三〇歳のある日、突然行き詰まって無気力になったんです。学校に行けなくなりました。教師の登校拒否ですよ。今の教育制度では、二〇年先は学校に行かなくなる子供達が増えると思いました。そういう子供達を世の中が捨てるのなら、僕が迷える子羊達に手を差しのべて共に歩んで行こうと思ったんです」

一九七五年、神戸御影に登校拒否や中退後、無気力になった子供達に生きる意欲を与え生きる意味を発見させるための「師友塾」を創設。以来一八年間で四千人の子供達と裸と裸で触れ合うなかで、教育のあり方、登校拒否や中退をした子供達への偏見をなくすことを訴え続けてきた。「登校拒否・中退問題はどの子にも起こる。彼らは決して悪い子ではない。元気で純粋な子供達です。『自分の人生を自分の手の中に取り戻せ！そのために中退したんだろう』彼らは中退したことを受けとめ再出発して行く。自分探しをしながら歩んで行くんです。年間一五万人もの子供達が中退していくんですよ。彼らが弱いんじゃない。日本の教育土壌が腐ってるんです」タオルで汗を拭いながら熱く語り続ける大越さん。「講師をしていた頃はある意味でエリートだったかもしれない。でも今はもっとエリートだと思っています。自分の哲学で自分の道を作ったんですから」子供達との合宿の様子を綴った著書「自分探し」を一〇日間で書きあげた。今後も益々パワフルに子供達と共に自分探しの旅を続ける。

ある集い■水　葉　会

水の力

上尾忠生

今年も年一回の発表展を迎えた。「前進がなければ即座に展覧会は休止しよう」と申し合わせて来年はいよいよ二十回の記念展ということになる。創立が一九七三年二月であるから会としての研修を続けて二十年を経過したことになるが、この会の生まれた発端は兵庫県立近代美術館の実技教室を終了したOBによって構成されたものである。阪本勝初代館長が昭和45年開館とほぼ同時に、描くことによって審美眼の高揚をうたわれ、デッサン、水彩画、日本画の三部門の研修機関を設置された。当節はやりのカルチャーセンターのパイオニアともいえるものである。

アマチュア精神の最もいいところを生かした地味な積み重ねであったが、県展、市展はもとより全国公募の水彩展でも確実に上位の賞をとってくる実力者も数人はいるし、中央団体の同人資格をもった会員が現在は4名活躍している。かといって会としての本来の目的である「水絵の研修をとおして創造のよろこびをひろく分かち合うこと」により競争意識などは論外のこと、水の力を信じて銘々の個性を存分に伸ばそうとしている。水葉会展を見てもらった人から随分いろいろの絵があるー——と評されるのもそんなところから生まれた会風としての特色の一つかも知れない。

■問い合わせ先
水葉会連絡事務所
〒657神戸市灘区赤松町
二—三—一一—二〇三
TEL　〇七八（八四一）四六〇〇
森住恵美子
代表者　上尾忠生

ある集い■名筆研究会

書俳の熱い交響詩

名筆研究会副理事長　中村安沙

名筆研究会恒例の選抜展が、現代語による漸新な俳句で世評の高い青玄俳句会有力同人を迎え、ギャラリーアベニューコーベで開催された。

今回のタイアップでは青玄主幹伊丹三樹彦の句を、名筆主催村上翔雲が書き、以下青玄から推薦された二十七名の句々を本会選抜者二十七名が書く。作品数二十四点。

季節感なし、分ち書き、と定形をやぶった青玄俳句の漸新さは理解しやすいとの定評がある。

我々の会は伝統も重視するが、現代性豊かな詩句を表現の素材として取りあげている。変体がなどを用いず端的な表現をする本会の書作傾向が観る人の共感をよんでいる。この句と書の交流の関係は二十年前、すでに梅田の銀行ロビーに於て種が蒔かれていたのである。その後翔雲による書俳教室も開講されていた。書俳というのは三樹彦の造語で、活動を続けてきたが一時中断した。今回、機熟したということになる。

会場は連日盛況。自分の句がどのように書かれているか、誰でも抱く素朴な気持ちの裏にのぞく心の錯綜。現役作家の句をかく手応えとしては、この肉迫がたまらない。一点仕上げるのに、ざっと二百枚から三百枚書くという本会の作家たち。緊迫したなかでの句と書の衝撃。この選抜展の意義は思いのほか深かった。

■問い合わせ先
明石市北朝霧丘二丁目六―十一
名筆研究会　主宰　村上翔雲
☎〇七八（九一七）〇五九二

新しい生活文化都心に向けて

21世紀にふさわしい街並を目指して作られる『キャナルタウン兵庫』の起工式が、5月15日、ＪＲ兵庫駅前の旧貨物駅跡地で行われた。

過疎化が進みつつある都心部の活性化に向け、旧貨物駅跡地を中心とした計35.6haに、約1700戸の高層住宅や図書館、在宅障害者福祉センター、室内楽専用ホール等を作り、主要施設が完成する1997年に街開きをする予定だ。

キャナルタウン兵庫を中心に、周辺地域と調和した街並が完成する。

●コウベスナップ

幻想の宵・須磨離宮「初夏の夜の夢」

蜷川幸雄演出による須磨離宮「初夏の夜の夢」が、5月28日・29日、須磨離宮公園で開催された。海風が爽やかな庭園を舞台に宇崎竜童をはじめ、花柳錦之輔・輔太朗、嵐徳三郎、五十嵐喜芳・麻利絵、蜷川紅三太鼓らが競演。幽玄なステージで観衆を酔わせた。

五十嵐喜芳・麻利絵父娘の熱唱

神戸ネオトロピカル協会も参加

能とバレエの共演

華麗な嵐徳三郎の舞

貝原俊民兵庫県知事

左上より／泉眞也、眷野信義、牧冬彦、ジャン・ドゥマーンジュ、ティエーリ・トルード、小松左京、石野信一、安藤忠雄、
左下より／萩原浩、端信行、松田研一、矢野茂文、小川卓海、前田幸雄、近藤三津枝、堀切民喜。（発言順・敬称略）

コミュニケーション文明の創造をめざして

㈶夢の架け橋記念事業協会の設立を記念して、6月4日、ホテルオークラ神戸にてラウンド・フォーラムが行われた。発言したのはジャーナリスト、作家、明石海峡大橋・日仏友好モニュメントの関係者など約20人。コミュニケーション文明への熱い想いを語った。

● トピックス

「西神オリエンタルホテル」オープン！

6月1日、地下鉄“西神中央駅”前に神戸では老舗の「オリエンタルホテル」が新たに誕生。シックな内装と広がりのある吹抜けは好評で、両側がガラス張りの渡り廊下からの眺めは最高。早くも、結婚式などの利用客で賑わっている。

左から作古貞義社長、柳瀬俊郎副会長、中川百合雄副社長、菊池寛二総支配人。

新しい西神の顔となるか!?

ART KOBE

赤木曠児郎

〝赤の世界〟

私は、子供の頃から〝赤〟が好きでした。

なぜ〝黒〟で描いたら〝黒〟を、どうして普通と思うんですか？〝黒〟の正反対が〝赤〟だから〝赤〟で描いてみても絵になるんだということをやってみたかったのです。

1934年、岡山生まれの私は、国立岡山大学の理学部物理学科を1953年に卒業し、物理をやっていたがおちこぼれ、卒業後、7年ばかり東京に出て洋服をつくったり、絵を描いたりしていて、何かしなくてはと、1963年に渡仏しました。

パリの国立美術大学に入ったのですが、1968年からパリを中心に5月革命が起こり、大学が1年閉鎖になってしまったのです。その間、直接パリの外に出て街のデッサンを描き初め、そのうち油絵でも描くようになりました。

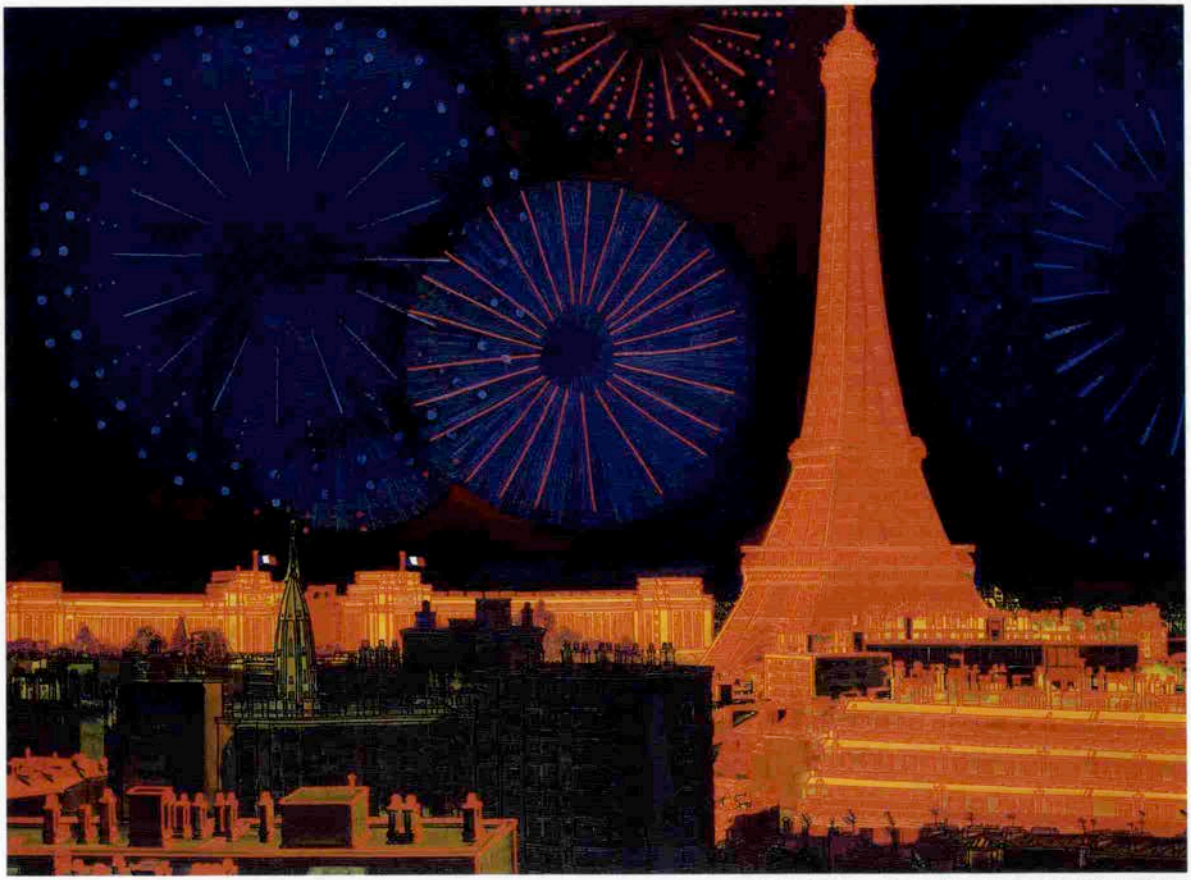
デッサンの線をそのまま〝黒い線〟で写しても、ゼロックスの機械みたいなものだから〝赤い線〟で描いてみようと思ったのです。だんだん筆を工夫して油絵で細く描けるようになったのですが、何故〝赤〟なのだろうかと考えてみると、黒や白や青もいいんだけれど〝赤〟がやっぱり私の気性に合ってるんですね。現象が、パッと全部切り替って〝赤の世界〟に切り替わる。

パリでは〝赤〟は東洋の色だなといわれ、自分では意識していないのですが〝朱の色〟は西欧人には東洋を感じるのでしょう。

なぜパリかといわれるけれど、パリで初めて描いてパリで一つ終わると次、次から次へと連続し、どんなものでもとり組んでいると、アイデアの連続の中にパリがあり、パリで続いているような気がするのです。

パリで暮らして30年になりました。（談）

1993年5月3日　大丸神戸店美術画廊



"Paris, je t'aime…" (le 14, Juillet) (rouge) 1977年 97×130cm